

『“神国日本”に 留学した満州娘』

上坂冬子／著
財団法人清香奨学会・如蘭塾
／発行
2012年7月／刊
資料コード／115124729

日本と満州、埋もれていた絆を辿る

昭和十八年、満州から佐賀県武雄市へ、勉学の為に海を渡ってきた少女達がいました。終戦後の帰国まで、50数名の“満州娘”が修業したという“如蘭塾”的成り立ちや、娘たちが再び武雄の地を踏んだ40年後の出来事について、ノンフィクション作家が綴ります。学舎で学んだ師弟共に“美しい思い出”として語り合う、国と国を超えた信頼の絆の物語を、ぜひ知ってください。

372

KA.38

『才能だけでは、つくれない。つくる人、動かす人に なる、5つのメソッド』

平野暁臣／著
美術出版社／発行
2012年8月／刊
資料コード／115127839

「ほかとは違うなにか」を！
イベントプロデューサーである著者が、新しいモノを生み出す“クリエイティブ”的作法”を語ります。アイデアを生み出し、深く思考し、やがて辿り着く、その仕事で達成すべきプロジェクトの“目標”。本書に紹介される岡本太郎プロジェクト等の仕事では、リーダーとして的確に現場を舵取りし成功に導いてきた、著者の手腕の見事さを実感できます。魅せる仕事術、学べます！

674.5

H.66

『長野久義メッセージBOOK 一信じる力ー』

長野久義／著
廣済堂出版／発行
2012年5月／刊
資料コード／115096042

自分で信じて、道を拓く！

2010年に読売ジャイアンツに入団した長野久義選手。プロ1年目に新人王を獲得。翌年には首位打者、ゴールデングラブ賞獲得等、活躍目覚ましい彼ですが、社会人チームを経て憧れの球団に入団するまでには、相当の苦悩があったといいます。佐賀県基山町で過ごした少年時代、欠点克服のエピソード、人生の岐路における選択法等…自らに冷静に向き合い続ける、実直な生き方に迫った自伝です。

783.7

C.53

『千年ジュリエット』

初野晴／著
角川書店／発行
2012年3月／刊
資料コード／115119224

学園祭を舞台に、事件は起きる

『退出ゲーム』に始まる“ハルチカ”シリーズ第4作目です。高校の吹奏楽部を舞台に起こる数々の騒動を、ミステリータッチで描いた同シリーズ。本作には、表題を含む4つの短編を収録しました。主人公の、“ハル”こと上条春太。“チカ”こと穂村千夏の2人をはじめとする、個性的な登場人物達が活躍します。謎とヒントを巧みに織り込み、笑いと感動をテンポ良く展開する物語は、ラストまで必見です！

F

H.42

『江戸っ子は虫歯しらず？ 江戸文化絵解き帳』

石川英輔／著
講談社／発行
2012年7月／刊
資料コード／115131096

江戸っ子の日常を覗いてみよう

江戸時代の町の賑わいや、人々の生活の様子を見ることはできませんが、先人たちが錦絵や人情本（当時の小説）等に描いた“絵”を覗いてみれば…。当時の慣習や流行、人々の勤勉さが手に取るようにわかります。書名の「江戸っ子は虫歯しらず？」というような、意外な話から怪談の類まで。奥深く愉快な江戸文化を、当時の“絵”から読み解きます。

382.1

I.76

『リストベート・ ツヴェルガーの世界』

リバート・ツヴェルガー／著
BL出版／発行
2012年7月／刊
資料コード／115120156

やわらかく描く、幻想の世界

色鉛筆に水彩絵の具、ペンやインクを使い、柔らかな描線、色彩で描かれた登場人物達。リストベートが手掛けた絵本やイラストは、生き生きとして華やかな魅力を放ち、世界中の人々に愛され続けています。本書は彼女の生い立ちに触れ、グリムやアンデルセン、ルイス・キャトル作品の挿絵等に代表される美しい手仕事を集めた画集です。思わず誰かに贈りたくなる、優しさ溢れる一冊です。

1726.6

Z.9

『歌に私は泣くだらう』

永田和宏／著
新潮社／発行
2012年7月／刊
資料コード／115130452

互いの思いを相聞歌にのせて

2009年に紫綬褒章を受章した歌人である著者が、数々の賞を受賞し“戦後を代表する女流歌人”と謳われた妻・河野裕子の闘病の日々を、互いに詠みあつた歌と共に振り返ります。辛い闘病生活の中に抱いた思いを、素直に歌に遺して逝った妻の、弱々しくも崇高な歌人としての姿。彼女を見つめ続けた家族の、生々しい苦しみと悲しみ。大切な人を亡くすという残酷な現実を前に、夫婦として、歌人として互いを慈しむ姿を綴った、胸に迫る歌集です。

911.16

N.23

『そこに僕らは居合わせた』

グードルン・
パウゼヴァング／著
みすず書房／発行
2012年7月／刊
資料コード／115130569

ナチス支配下のドイツで…

10代の思春期をナチス政権下のドイツで過ごした著者が、自ら体験、もしくは見聞きしたことを基に綴った、短編物語です。ナチス思想が巧みに刷り込まれた少年少女の目を通して描かれる、ユダヤ人迫害の痛ましい光景。当時、当り前のこととして日常で行われてきた「恥ずべき行為」が忘れ去られることがないように、願いを込めて出版されました。

943.7

P.28

お問い合わせは…

佐賀県立図書館
図書館ネットワークまで

10月23日発行。次号は11月発行予定です！